



2021年3月期 決算説明資料

(2020年4月～2021年3月)

2021年5月11日



証券コード:1905

会社概要	3～4ページ
2021年3月期 決算の概要(連結)	5ページ
連結損益計算書の概要	6ページ
連結貸借対照表の概要	7ページ
連結キャッシュ・フローの概要	8ページ
売上高の推移(単体)	9ページ
売上高[杭工事・地盤改良工事]の状況(単体)	10ページ
2022年3月期の業績予想(連結)	11ページ
2022年3月期の連結売上高予想	12ページ
2022年3月期の投資計画等について(単体)	13ページ
(ご参考)株価、配当金及び連結配当性向(2017年3月期～)	14ページ
(ご参考)連結業績推移(2017年3月期～)	15ページ
(ご参考)連結業績推移(10ヵ年)	16ページ

経営理念：人間尊重・技術志向・積極一貫

私達は、「信頼されるテノックス」として、これからも土や地盤と素直に向き合いながら、積極的に研究・開発を進めていくとともに、
建築・土木構造物をお使いになれる全ての人々に、
安全・確実な施工管理体制のもと、安心できる施工をご提供していくことをモットーに、
お客様のご要望にお応えしてまいります所存であります。

本社	〒108-8380 東京都港区芝五丁目25番11号
設立	1970年7月8日
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 佐藤 雅之
事業内容	・コンクリートパイル、鋼管パイルの販売及びその杭打工事の請負 ・地盤改良工事の請負
従業員数	(単体) 192名 (連結) 312名 ※2021年3月31日現在
拠点	(営業所) 北海道、東北、名古屋、大阪、中四国、九州の6ヶ所 (出張所) 北東北、郡山、北陸の3ヶ所 (機材センター・試験研究室) 東京機材センター
グループ会社	(連結子会社：国内) (株)テノックス技研、(株)広島組、(株)複合技術研究所 (連結子会社：海外) TENOX ASIA COMPANY LIMITED (ベトナム)

グループ会社名	事業内容
(株)テノックス（当社）	<p>基礎工事に特化した建設事業及び建設資材の販売</p> <p>〔主な工法〕</p> <p>杭工法 ： TN-X工法、TN工法、ガンテツパイル工法、NSエコパイル工法、ATTコラム工法</p> <p>地盤改良工法 ： テノコラム工法、ピュアパイル工法、TOFT工法</p>
(株)テノックス技研	(株)テノックスの基礎工事の施工及び機材の賃貸
(株)広島組	基礎工事の施工
(株)複合技術研究所	土木建築コンサルティング全般等に関する事業及び工事物件の斡旋
TENOX ASIA COMPANY LIMITED	ベトナムにおける杭材料の販売及び地盤改良工事の施工等

2021年3月期 決算の概要(連結)



- 売上高: 鉄道関連大型プロジェクトなど土木の杭工事が一段落したことにより減収
- 利益 : 売上高の減少と、建設需要の先行き不透明感に伴う競合から利益率が低下したことにより減益

■ 売上高	159億6百万円	前年同期比 Δ 26億76百万円 (Δ 14.4%) ✓主に鉄道関連など土木の杭工事が減収
■ 営業利益	3億8百万円	前年同期比 Δ 8億30百万円 (Δ 72.9%) ✓主に売上高の減少と競合による利益率の低下
■ 経常利益	3億31百万円	前年同期比 Δ 8億47百万円 (Δ 71.9%) ✓主に営業利益の減益による
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	1億73百万円	前年同期比 Δ 5億95百万円 (Δ 77.5%) ✓主に経常利益の減益による
■ 受注高	168億56百万円	前年同期比 +10億23百万円 (+6.5%)
■ 受注残高	50億37百万円	前期末比 +15億19百万円 (+43.2%) ✓当期末の主な残高は地盤改良の大型工事

連結損益計算書の概要



(単位:百万円)

	2020/3	売上高 比率	2021/3	売上高 比率	前年同期比	
売上高	18,583	—	15,906	—	△2,676	△14.4%
売上原価	15,570	83.8%	13,816	86.9%	△1,754	△11.3%
売上総利益	3,012	16.2%	2,090	13.1%	△921	△30.6%
販売費及び 一般管理費	1,873	10.1%	1,781	11.2%	△91	△4.9%
営業利益	1,139	6.1%	308	1.9%	△830	△72.9%
経常利益	1,179	6.3%	331	2.1%	△847	△71.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	768	4.1%	173	1.1%	△595	△77.5%

連結貸借対照表の概要



- 流動資産：主に電子記録債権や現金預金などが減少
- 流動負債：主に法人税および消費税の未払などが減少

(単位:百万円)

	2020/3末	2021/3末	前期末比	
流動資産	15,939	15,102	△837	△5.3%
固定資産	2,728	3,061	+333	+12.2%
資産合計	18,667	18,163	△503	△2.7%
流動負債	5,903	5,057	△845	△14.3%
固定負債	568	890	+322	+56.7%
負債合計	6,472	5,948	△523	△8.1%
純資産合計	12,195	12,215	+19	+0.2%
(自己資本比率)	(63.5%)	(65.1%)	(+1.6ポイント)	—

連結キャッシュ・フローの概要



(単位:百万円)

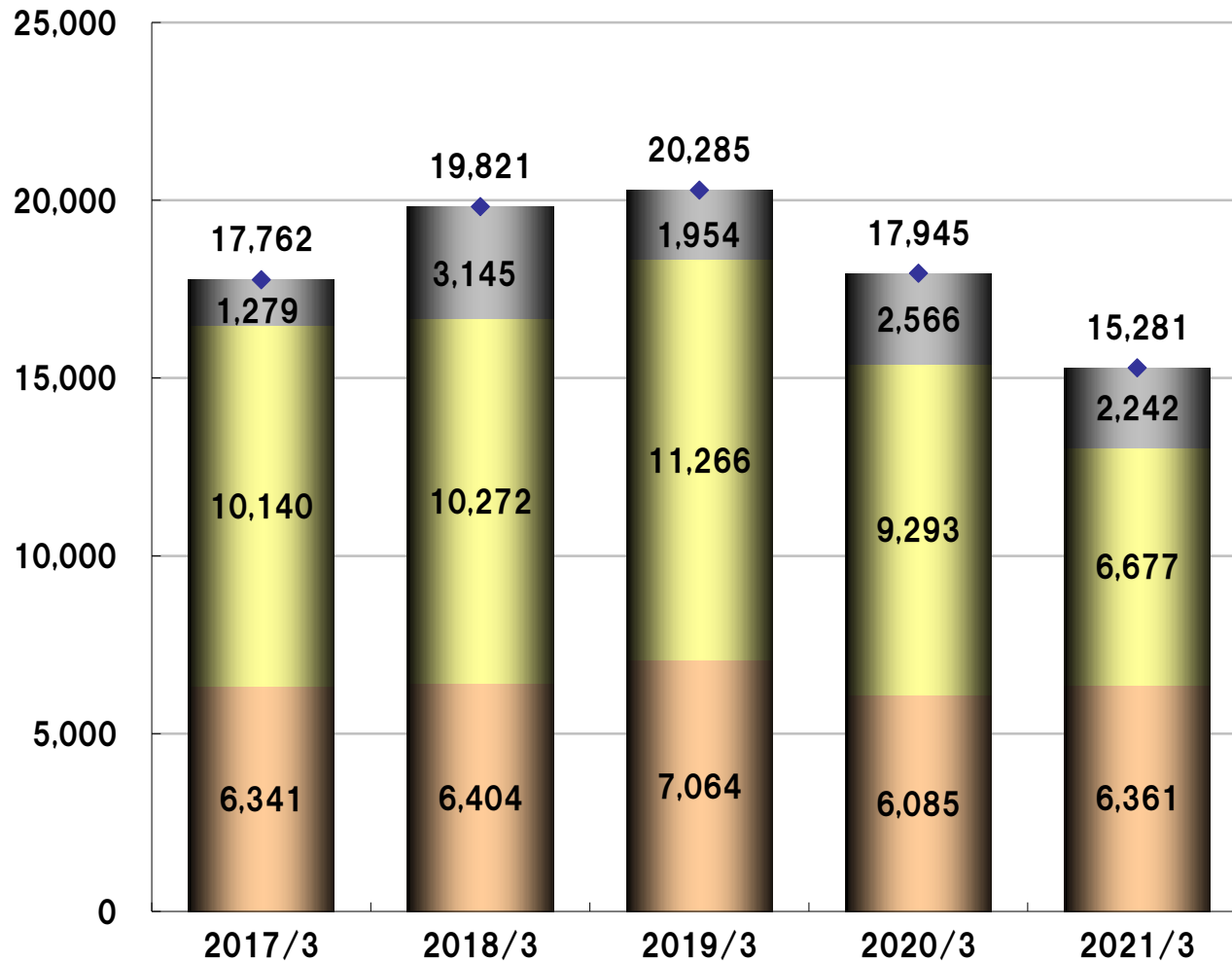
	2020/3	2021/3	当期の主な要因	
営業活動による キャッシュ・フロー	+2,447	△6	税金等調整前当期純利益 減価償却費 売上債権の減少 法人税等の支払額 その他(消費税等の支払額)	+3億11百万円 +5億11百万円 +3億68百万円 △5億75百万円 △7億47百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△513	△638	有形固定資産の取得による支出 投資有価証券の取得による支出	△4億35百万円 △1億88百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△215	△257	配当金の支払額 自己株式の取得による支出	△1億94百万円 △33百万円
現金及び現金同等物の 増減額	+1,717	△902		
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の 増減額	+161	—		
現金及び現金同等物の 当期末残高	9,304	8,402		

売上高の推移(単体)



(単位:百万円)

■地盤改良工事 ■杭工事 ■その他 ◆計



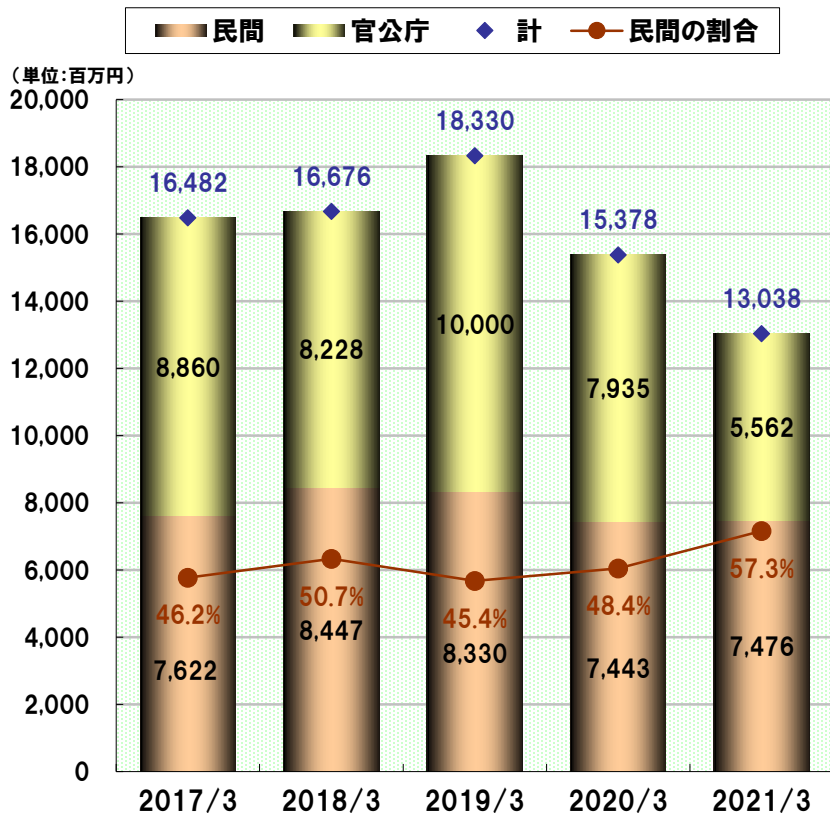
前年同期比 主な要因

- 杭工事:
主に、鉄道関連などの
土木工事が減少
- 地盤改良工事:
主に、大型の物流施
設、庁舎が増加

売上高[杭工事・地盤改良工事]の状況(単体)



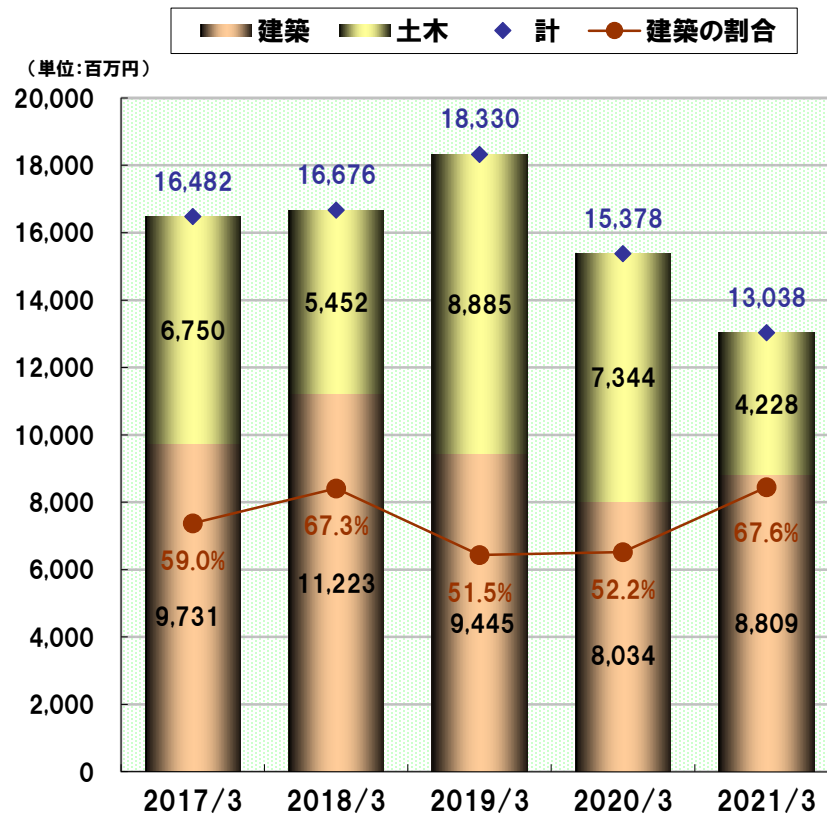
民間vs官公庁の推移(単体)



前年同期比 主な要因

- 民間は、大型の物流施設などが増加
- 官公庁は、鉄道関連や教育施設などが減少

建築vs土木の推移(単体)



前年同期比 主な要因

- 建築は、大型の物流施設などが増加
- 土木は、鉄道関連などが減少

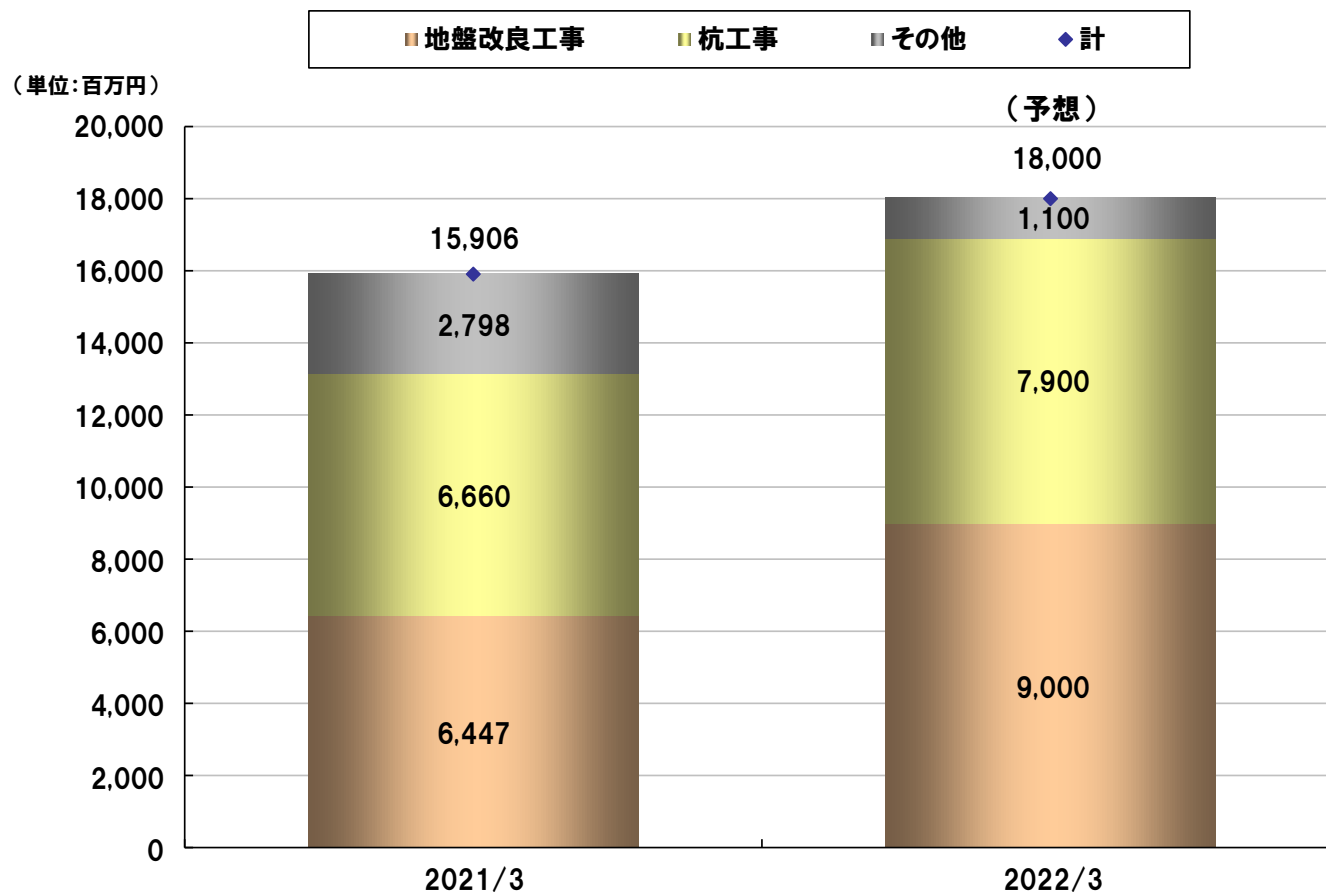
2022年3月期の業績予想(連結)



- 売上高: 地盤改良工事が増加
- 利益 : 地盤改良工事高の増収に伴う増益および稼働率の上昇により利益率が改善

■売上高	《予想》 180億円	前期比	+20億93百万円 (+13.2%)
■営業利益	《予想》 6.8億円	前期比	+3億71百万円 (+120.1%)
■経常利益	《予想》 7億円	前期比	+3億68百万円 (+111.2%)
■親会社株主に帰属する 当期純利益	《予想》 4億円	前期比	+2億26百万円 (+130.8%)

2022年3月期の連結売上高予想



- **杭工事:**
鉄道関連などの土木工
事が増加
- **地盤改良工事:**
主に、大型の発電所が
増加

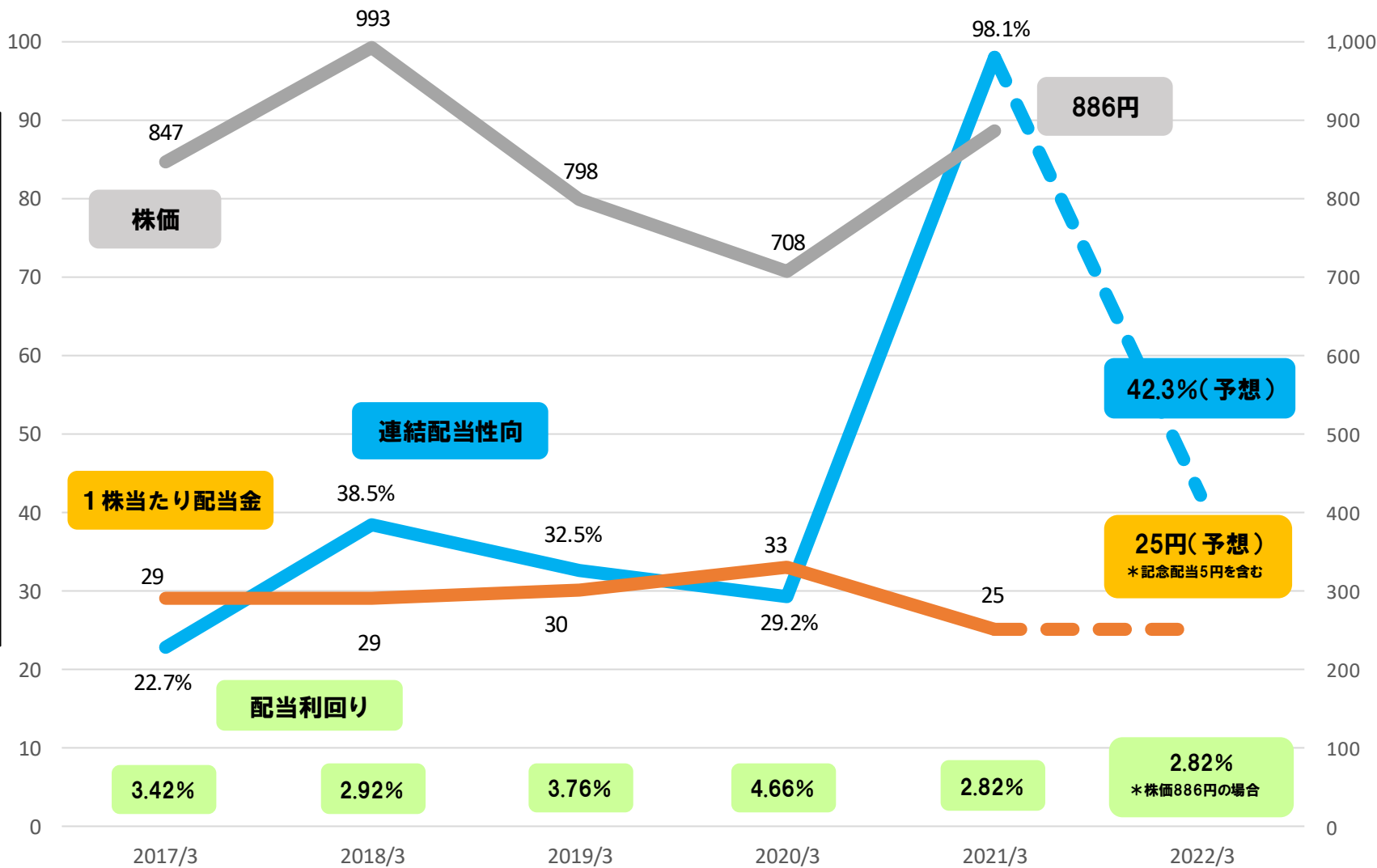
2022年3月期の投資計画等について(単体)



収益力の強化に資するよう、投資の最適化を図る

■設備投資額	《予想》 6億6百万円	前期比 +3億82百万円 (+170.4%) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■減価償却費	《予想》 5億円	前期比 +28百万円 (+6.1%) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■研究開発費	《予想》 1億47百万円	前期比 +82百万円 (+127.8%) ✓ 主に新工法の開発、施工管理装置の高度化
■従業員数	《予想》 199名	前期比 +7名

(ご参考) 株価、配当金及び連結配当性向 (2017年3月期～)

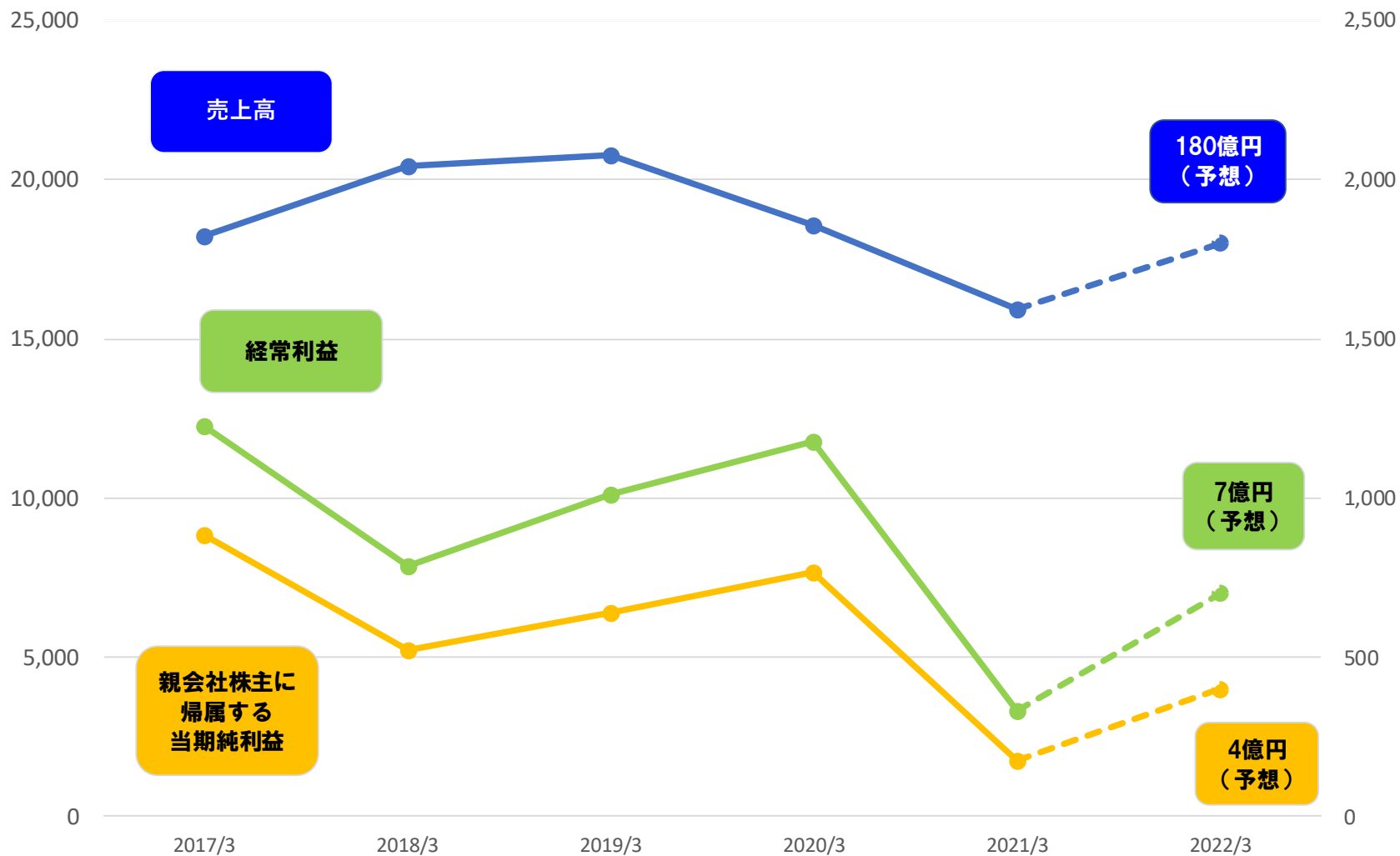


(ご参考) 連結業績推移 (2017年3月期～)



(単位:百万円)

(単位:百万円)



売上高

経常利益

親会社株主に
帰属する
当期純利益

経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

(ご参考) 連結業績推移 (10ヵ年)



(単位:百万円)

	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3 (予想)
売上高	19,829	21,601	22,427	19,830	18,226	20,441	20,774	18,583	15,906	18,000
売上原価	17,338	18,305	18,834	16,296	15,432	17,877	18,121	15,570	13,816	
売上総利益	2,491	3,295	3,593	3,533	2,794	2,564	2,653	3,012	2,090	
販売費及び 一般管理費	1,946	1,981	2,051	1,570	1,732	1,815	1,700	1,873	1,781	
営業利益	544	1,314	1,541	1,962	1,062	749	953	1,139	308	680
経常利益	644	1,394	1,610	1,905	1,224	785	1,010	1,179	331	700
(売上高 経常利益率:%)	(3.2)	(6.5)	(7.2)	(9.6)	(6.7)	(3.8)	(4.9)	(6.3)	(2.1)	(3.9)
税金等調整前 当期純利益	639	1,420	1,633	1,900	1,214	748	1,015	1,208	311	
親会社株主に帰属する 当期純利益	498	521	861	1,257	886	523	640	768	173	400
(売上高 当期純利益率:%)	(2.5)	(2.4)	(3.8)	(6.3)	(4.9)	(2.6)	(3.1)	(4.1)	(1.1)	(2.2)
	2013/3 期末	2014/3 期末	2015/3 期末	2016/3 期末	2017/3 期末	2018/3 期末	2019/3 期末	2020/3 期末	2021/3 期末	2022/3 期末(予想)
純資産	7,825	8,822	9,814	10,338	11,021	11,393	11,636	12,195	12,215	12,500
総資産	14,949	16,436	16,910	16,481	16,780	17,992	16,766	18,667	18,163	18,500

2018/3期末残高は、「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を適用しており、科目を組み替えております。

環境と共存し、確かな技術力で
社会と暮らしを支える



ホームページ: <https://www.tenox.co.jp/>

お問い合わせ先: 企画情報推進部 予算・IRグループ

https://www.tenox.co.jp/contact/contact_ir/

電話: 03-3455-7787